



はじめに

この本は、戦時体制下の労働運動の発展と階級の創出を論じたものである。戦時体制の進展に伴い、労働者の地位はますます低下し、階級社会の形成が加速している。この状況を打破し、労働者の階級意識を喚起し、階級闘争を推進する必要がある。本稿では、戦時体制下の労働運動の現状を分析し、階級の創出のメカニズムを論じていく。

階級を創出する労働運動へ向けて  
— 問題の所在はどこか —

(1) 戦時体制下の労働運動

戦時体制下の労働運動は、戦前とは異なり、国家権力の強力な統制の下で行われている。労働組合の活動は厳しく制限され、労働者の権利は著しく侵害されている。しかし、労働者は依然として階級意識を醸成し、階級闘争の萌芽を形成している。この階級意識の醸成は、労働者の階級化を促進し、階級社会の形成に寄与している。

(2) 我々は何をいふのか

我々労働者は、戦時体制下の労働運動を通じて、階級の創出を達成し、階級社会を形成する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

(3) 階級の創出をいかにするか

階級の創出を達成するためには、労働者は階級意識を醸成し、階級闘争を推進する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

(4) 階級闘争の闘い

階級闘争の闘いは、労働者が階級意識を醸成し、階級闘争を推進する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

権力の教育

権力の教育は、労働者の階級意識を醸成し、階級闘争を推進する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

教育労働者の選ぶ道は何か

教育労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

教育労働者から

教育労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

日本革命思想  
戦後革命論の止揚と  
綱領創出のため  
総論 (一) 三三治  
たがいの転機

日本革命思想の発展と戦後革命論の止揚。戦時体制下の労働運動を通じて、階級の創出を達成し、階級社会を形成する必要がある。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。

階級意識の醸成と階級闘争の推進。労働者は、階級意識を醸成し、階級闘争を推進し、階級社会の形成に貢献する。我々は、階級社会の形成を通じて、労働者の地位を向上させ、労働者の権利を保障する必要がある。